

国 語

(言語文化)

発 行 者			教科書の記号	判型	総ページ数	検定済年
番号	名 称	略 称	番 号			
2	東京書籍	東書	言文 701	A 5	306	令和3年
2	東京書籍	東書	言文 702	A 5	358	
15	三省堂	三省堂	言文 703 ◆	A 5	361	
15	三省堂	三省堂	言文 704 ◆	A 5	304	
50	大修館書店	大修館	言文 705 ◆	A 5	364	
50	大修館書店	大修館	言文 706 ◆	B 5	312	
104	数研出版	数研	言文 707 ◆	A 5	342	
104	数研出版	数研	言文 708 ◆	A 5	334	
104	数研出版	数研	言文 709 ◆	A 5	326	
109	文英堂	文英堂	言文 710	A 5	309	
117	明治書院	明治	言文 711	A 5	370	
143	筑摩書房	筑摩	言文 712 ◆	A 5	320	
183	第一学習社	第一	言文 713 ◆	A 5	256	
183	第一学習社	第一	言文 714 ◆	A 5	336	
183	第一学習社	第一	言文 715 ◆	A 5	304	
183	第一学習社	第一	言文 716 ◆	B 5	258	
212	桐原書店	桐原	言文 717 ◆	A 5	296	

※ 「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

言語文化							冊数	17冊
発行者の略称・ 教科書の番号	東書701	東書702	三省堂703	三省堂704	大修館705	大修館706	数研707	
	数研708	数研709	文英堂710	明治711	筑摩712	第一713	第一714	
	第一715	第一716	桐原717					

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【国語の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- (3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【言語文化の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【言語文化の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
[知識及び技能] (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 (2) 我が国の言語文化に関する事項 [思考力、判断力、表現力等] A 書くこと ○ 題材の設定、情報の収集、内容の検討 ○ 構成の検討、考えの形成、記述、推敲、共有 B 読むこと ○ 構造と内容の把握 ○ 精査・解釈 ○ 考えの形成、共有	(1) [思考力、判断力、表現力等]について ア「A書くこと」 ・ 5～10単位時間程度を配当すること。 ・ 中学校国語科の書写との関連を図り、効果的に文字を書く機会を設けること。 イ「B読むこと」 ・ 古典に関する指導は40～45単位時間程度を配当すること。 ・ 古典における古文と漢文の割合は、一方に偏らないようにすること。その際、古典について解説した近代以降の文章などを活用するなどして、我が国の言語文化への理解を深めるよう指導を工夫すること。 ・ 近代以降の文章に関する指導については、20単位時間程度を配当すること。その際、我が国の伝統と文化に関する近代以降の論理的な文章や古典に関連する近代以降の文学的文章を活用するなどして、我が国の言語文化への理解を深めるよう指導を工夫すること。 ・ 教材は、古典及び近代以降の文章とし、日本漢文、近代以降の文語文や漢詩文などを含めるとともに、我が国の言語文化への理解を深める学習に資するよう、我が国の伝統と文化や古典に関連する近代以降の文章を取り上げる。また、必要に応じて、伝承や伝統芸能などに関する音声や画像の資料を用いることができること。 (2) 各領域の言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査項目	対象の根拠（目標等との関連）	数値データの単位
a 書くことを主とする教材の数と全体に占める割合	内容の取扱い《書くことに関する指導には5～10単位時間程度を配当すること》	個、%
b 古典の文章教材の数と全体に占める割合（作品名は別表）	内容の取扱い《読むことの古典に関する指導には40～45単位時間程度を配当すること》	個、%
c 古文と漢文の文章教材の数と、古典における割合	内容の取扱い《古典における古文と漢文との割合は、一方に偏らないようにすること》	個、%
d 近代以降の文章教材の数と全体に占める割合（作品名と作者名は別表）	内容の取扱い《読むことの近代以降の文章に関する指導については、20単位時間程度を配当すること。》	個、%
e 発展的な内容を取り上げている箇所数	第1章総則 第2款	個

イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

- ① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項のb及びc、g及び*との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

 - b 古典の文章教材の作品名
 - d 近代以降の文章教材の作品名と作者名
 - g 発展的な内容の概要
 - * 北朝鮮による拉致問題の扱い
 - * 防災や自然災害の扱い
 - * オリンピック、パラリンピックの扱い
- ② 調査対象事項を設定した理由等
 - ・ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示された内容の教材が、各領域における授業時数に見合った分量で掲載されているかを調査する。
 - ・ 学習指導要領に、内容の範囲や程度等を示す事項は、当該科目を履修する全ての生徒に対して指導するものとする内容の範囲を示したものであり、学校において必要がある場合には、この事項にかかわらず指導することができるため、発展的な内容を取り上げている箇所について調査する。
 - * 北朝鮮による拉致問題については、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
 - * 防災や自然災害について、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
 - * オリンピック、パラリンピックについては、東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫
- ② ユニバーサルデザインの視点
- ③ デジタルコンテンツの扱い

「別紙1」【(1)内容 ア 調査研究の総括表】(言語文化)

調査項目			a		b		c				d		e	
			の書数と全体に占める割合		体古典に占める文章教材の数と全		に教材の数と割合		古文と漢文の文章		と近代以降の文章教材の数		て発展的な内容を取り上げ	
発行者	教科書番号	教科書名	個	%	個	%	個	%	個	%	個	%	箇所	(全体の個数)
東書	701	新編言語文化	4	9.3	27	62.8	16	59.3	11	40.7	12	27.9	0	43
東書	702	精選言語文化	4	6.6	44	72.1	29	65.9	15	34.1	13	21.3	0	61
三省堂	703	精選言語文化	3	5.7	34	64.2	23	67.6	11	32.4	16	30.2	0	53
三省堂	704	新言語文化	4	12.5	18	56.3	10	55.6	8	44.4	10	31.3	0	32
大修館	705	言語文化	9	16.4	30	54.5	21	70.0	9	30.0	16	29.1	0	55
大修館	706	新編言語文化	5	10.2	30	61.2	20	66.7	10	33.3	14	28.6	0	49
数研	707	言語文化	5	8.8	43	75.4	29	67.4	14	32.6	9	15.8	0	57
数研	708	高等学校 言語文化	4	8.3	35	72.9	23	65.7	12	34.3	9	18.8	0	48
数研	709	新編 言語文化	5	13.5	21	56.8	13	61.9	8	38.1	11	29.7	0	37
文英堂	710	言語文化	6	12.0	32	64.0	23	71.9	9	28.1	12	24.0	0	50
明治	711	精選 言語文化	2	3.6	40	71.4	26	65.0	14	35.0	14	25.0	0	56
筑摩	712	言語文化	2	3.0	47	70.1	31	66.0	16	34.0	18	26.9	0	67
第一	713	高等学校 言語文化	4	8.0	38	76.0	26	68.4	12	31.6	8	16.0	0	50

「別紙1」【(1)内容 ア 調査研究の総括表】(言語文化)

調査項目			a		b		c				d		e	
			の書数と全体を主に占める割合		体古典に占める文章教材の数と全		に教材の数と割合		古文と漢文の文章		と近代以降の文章教材の数		て発展的な内容を取り上げ	
発行者	教科書番号	教科書名	個	%	個	%	個	%	個	%	個	%	箇所	(全体の個数)
第一	714	高等学校 精選 言語文化	4	7.1	38	67.9	26	68.4	12	31.6	14	25.0	0	56
第一	715	高等学校 標準 言語文化	4	8.7	28	60.9	18	64.3	10	35.7	14	30.4	0	46
第一	716	高等学校 新編 言語文化	4	9.5	23	54.8	15	65.2	8	34.8	15	35.7	0	42
桐原	717	探求 言語文化	8	12.3	49	75.4	32	65.3	17	34.7	8	12.3	0	65
平均値			4.5	8.9	33.9	66.6	22.4	43.9	11.5	22.6	12.5	24.6	0.0	51

・aの割合については、全体の個数に対する該当の個数の割合を、小数第2位を四捨五入した値である。

・bの割合については、全体の個数に対する該当の個数の割合を、小数第2位を四捨五入した値である。

・cの割合については、全体の個数に対する該当の個数の割合を、小数第2位を四捨五入した値である。

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
1	古文に親しむ	竹取物語、枕草子、源氏物語、方丈記、平家物語、徒然草、奥の細道		○	1	さくらさくらさくら	さくらさくらさくら	俵万智	○		
2	児のそら寝	宇治拾遺物語		○	2	「美しい」ということ	「美しい」ということ	赤木明登	○		
3	用光と白波	今鏡	藤原為経	○	3	とんかつ	とんかつ	三浦哲郎	○		
4	絵仏師良秀	宇治拾遺物語		○	4	雨漏りの音	雨漏りの音	長嶋有	○		
5	亀山殿の御池に			○	5	柳をあをめる【短歌】	短歌(12)	正岡子規	○		
6	奥山に、猫またといふものありて	徒然草	兼好法師	○				与謝野晶子			
7	雪のおもしろう降りたりし朝			○				斎藤茂吉			
8	今日はそのことをなさんと思へど			○				北原白秋			
9	うつくしきもの	枕草子	清少納言	○				若山牧水			
10	折々のうた	折々のうた	大岡信	○				石川啄木			
								万葉集(2)		柿本人麻呂	斎藤史
								古今和歌集(2)		大伴家持	近藤芳美
								新古今和歌集(2)		よみ人しらず	寺山修司
								梁塵秘抄(1)		藤原敏行	河野裕子
		閑吟集(1)	藤原定家		俵万智						
			藤原家隆		笹井宏之						
11	芥川	伊勢物語		○			正岡子規				
12	筒井筒			○			高浜虚子				
13	木曾の最期	平家物語		○	6	雪の深さを【俳句】	俳句(12)	種田山頭火	○		
14	旅立ち	奥の細道	松尾芭蕉	○				飯田蛇笏			
15	平泉			○				水原秋桜子			
16	文体の変遷	日本書紀、続日本紀、古今和歌集、方丈記、浮世風呂、浮雲、胡蝶、多情多恨、吾輩は猫である		○				橋本多佳子			
17	訓読の基本	訓読の基本		○				中村汀女			
18	守株	韓非子	韓非	○	中村草田男						
19	五十歩百歩	孟子	孟軻	○	山口誓子						
20	借虎威	戦国策	劉向	○	石田波郷						
21	絶句と律詩一七首	鹿柴	王維	○	7	冬が来た	冬が来た	高村光太郎	○		
					9	I was born	I was born	吉野弘	○		
					10	羅生門	羅生門	芥川龍之介	○		
					11	夢十夜	夢十夜	夏目漱石	○		
					12	デューク	デューク	江國香織	○		
22	漢詩と日本文学	香伊峰下、新ト山居草堂初成、偶題東望	白居易	○							
23	論語一八章	論語	孔子	○							
24	『論語』の注釈を読む	論語	孔子	○							
		論語古義	伊藤仁斎								
25	曹公戦於白馬	三国志	陳寿	○							
26	曹公以関羽為義			○							
27	魏武捉刀	世説新語	劉義慶	○							
				(0)	(27)				(0)	(12)	

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	e 発展的な内容の概要				
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要			
1	児のそら寝	宇治拾遺物語		○	1	言葉を届ける	言葉を届ける	東直子	○					
2	用光と白波	今鏡		○	2	耳覚めの季節	耳覚めの季節	青山七恵	○					
3	絵仏師良秀	宇治拾遺物語		○	3	羅生門	羅生門	芥川龍之介	○					
4	大江山の歌	十訓抄		○	4	雨漏りの音	雨漏りの音	長嶋有	○					
5	丹波に出雲といふ所あり	徒然草	兼好法師	○	5	こころの鉦ー短歌抄	短歌(16)	正岡子規	○					
6	ある人、弓射ることを習ふに			○				与謝野晶子						
7	九月二十日のころ			○				斎藤茂吉						
8	今日はそのことをなさんと思へど			○				北原白秋						
9	ゆく河の流れ	方丈記	鴨長明	○				若山牧水						
10	五月ばかりなどに山里に歩く	枕草子	清少納言	○				石川啄木						
11	ありがたきもの	伊勢物語		○				寺山修司						
12	芥川			○				河野裕子						
13	東下り			○				永井陽子						
14	筒井筒			○				俵万智						
15	梓弓			○				正岡子規						
16	馬のはなむけ	土佐日記	紀貫之	○				高浜虚子						
17	羽根といふ所			○				飯田蛇笏						
18	帰京			○	中村草田男									
19	万葉集	万葉集(10)	額田王 大海人皇子 柿本朝臣人麻呂 山部宿禰赤人 山上憶良臣 大伴旅人 東歌 大伴家持 文部稲麻呂	○	6	秋の航ー俳句抄	俳句(16)	種田山頭火	○					
								水原秋桜子						
								橋本多佳子						
								中村汀女						
								山口誓子						
								名取里美						
								黛まどか						
神野紗希														
20	古今和歌集	古今和歌集(10)	在原業平朝臣 紀貫之 よみ人知らず 藤原敏行朝臣 紀友則 阿倍仲麻呂 壬生忠岑 小野小町 凡河内躬恒	○	7	小景異情	小景異情	室生犀星	○					
								8				一つのメルヘン	一つのメルヘン	中原中也
								9				I was born	I was born	吉野弘
								10				あいだ	あいだ	小池昌代
								11				富嶽百景	富嶽百景	太宰治
								12				鏡	鏡	村上春樹
21	新古今和歌集	新古今和歌集(10)	後鳥羽上皇 皇太后宮大夫俊成女 宮内卿 皇太后宮大夫俊成 寂蓮法師 西行法師 藤原定家朝臣 藤原家隆朝臣 式子内親王 藤原良経	○	13	桜に関する作品を読み比べる	短歌(3)	岡本かの子	○					
								馬場あき子						
								俵万智						
								室生犀星						
								三好達治						
								角田光代						
												詩(2)		
	律儀な桜													

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	e 発展的な内容の概要			
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要		
22	天の羽衣	竹取物語		○									
23	富士の山			○									
24	木曾の最期	平家物語		○									
25	漂泊の思ひ			○									
26	平泉	奥の細道	松尾芭蕉	○									
27	大垣			○									
28	昔の犬は何と鳴く	昔の犬は何と鳴く	山口仲美	○									
29	文体の変遷	日本書紀、続日本紀、古今和歌集、方丈記、浮雲、胡蝶、多情多恨、吾輩は猫である		○									
30	訓読の基本	訓読の基本		○									
31	矛盾	韓非子	韓非	○									
32	助長	孟子	孟軻	○									
33	推敲	唐詩紀事	計有功	○									
34	借虎威	戦国策	劉向	○									
35	朝三暮四	列子	列禦寇	○									
36	塞翁馬	淮南子	劉安	○									
37	絶句と律詩(8)	鹿柴	王維	○									
		春曉	孟浩然										
		春曉	幸田露伴										
		送元二使安西	王維										
		黄鶴楼送孟浩然之広陵	李白										
		涼州詞	王翰										
		春望	杜甫										
		香炉峰下、新卜山居草堂初成、偶題東壁	白居易										
38	雑説	昌黎先生集	韓愈	○									
39	晏子之御	史記	司馬遷	○									
40	管鮑之交			○									
41	臥薪嘗胆	十八史略	曾先之	○									
42	論語	論語	孔子	○									
43	『論語』の注釈を読む	論語	孔子	○									
		論語集注	朱熹										
		論語古義	伊藤仁斎										
44	不忍人之心	孟子	孟軻	○									
				(0)	(44)				(0)	(13)			

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
1 児のそら寝	宇治拾遺物語			○	1 日本語の表記法	日本語の表記法	水村美苗	○			
2 絵仏師良秀				○	2 羅生門	羅生門	芥川龍之介	○			
3 春はあけぼの	枕草子	清少納言		○	3 レッスン	レッスン	角田光代	○			
4 ありがたきもの				○	4 小諸なる古城のほとり	小諸なる古城のほとり	島崎藤村	○			
5 ある人、弓射ることを習ふに				○	5 時計	時計	萩原朔太郎	○			
6 丹波に出雲といふ所あり				○	6 サーカス	サーカス	中原中也	○			
7 奥山に、猫またといふものありて	徒然草	兼好法師		○	7 シジミ	シジミ	石垣りん	○			
8 ある者、小野道風の書ける				○	8 I was born	I was born	吉野弘	○			
9 雪のおもしろう降りたりし朝				○	9 青が消える	青が消える	村上春樹	○			
10 神無月のころ				○	10 夢十夜	夢十夜	夏目漱石	○			
11 竹取物語	竹取物語			○			与謝野晶子				
12 芥川	伊勢物語			○			斎藤茂吉				
13 東下り				○			石川啄木				
14 万葉集	万葉集(7)	額田王 柿本人麻呂 山上憶良 大伴家持 東歌 防人歌		○	11 その子二十一短歌十六首	短歌(16)	寺山修司 佐佐木幸綱 河野裕子 穂村弘 東直子	○			
15 古今和歌集	古今和歌集(8)	小野小町 よみ人知らず 藤原敏行 紀友則 紀貫之 壬生忠岑 良岑宗貞		○	12 いくたびも一俳句十六句	俳句(16)	正岡子規 高浜虚子 橋本多佳子 西東三鬼 中村草田男 山口誓子 渡辺白泉 長谷川權	○			
16 新古今和歌集	新古今和歌集(7)	後鳥羽院 藤原良経 寂蓮法師 藤原定家 西行法師 式子内親王 藤原俊成		○	13 空缶	空缶	林京子	○			
					14 待ち伏せ	待ち伏せ	ティム・オプライエン	○			
					15 月の誤訳	月の誤訳	多和田葉子	○			
					16 日本語の部屋	日本語の部屋	リービ英雄	○			
17 木曾の最期	平家物語			○							
18 門出				○							
19 忘れ貝	土佐日記	紀貫之		○							
20 帰京				○							
21 旅立ち				○							
22 立石寺	奥の細道	松尾芭蕉		○							
23 大垣				○							
24 漢文入門	漢文入門			○							
25 漁父之利	戦国策	劉向		○							
26 借虎威				○							
27 朝三暮四	列子	列子		○							
28 推敲	唐詩紀事	計有功		○							
29 先従隗始	十八史略	曾先之		○							

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
30	鶏鳴狗盗	史記	司馬遷		○						
31	臥薪嘗胆	十八史略	曾先之		○						
32	漢詩(10)	春曉	孟浩然		○						
		春望	杜甫								
		聞蟬感懷	賈島								
		八月十五日夜、禁中獨直、對月憶元九	白居易								
		江雪	柳宗元								
		冬夜讀書	管茶山								
		靜夜思	李白								
		聞雁	韋応物								
送元二使安西	王維										
	桂林莊雜詠示諸生	広瀬淡窓									
33	雑説	唐宋八大家文読本	韓愈		○						
34	論語(13)	論語	孔子		○						
			(0)	(34)				(0)	(16)		

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	e 発展的な内容の概要		
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要	
1 春はあけぼの	枕草子	清少納言		○	1 千年の時が与えてくれる安堵	千年の時が与えてくれる安堵	小川洋子		○			
2 ありがたきもの				○	2 ゴール	ゴール	三崎亜記		○			
3 虎の威を借る	戦国策	劉向		○	3 羅生門	羅生門	芥川龍之介		○			
4 朝三暮四	列子	列子		○	4 短歌七首	短歌(7)	与謝野晶子		○			
5 児の飴食ひたること	沙石集	無住		○			齋藤茂吉					
6 景公之馬	説苑	劉向		○			石川啄木					
7 芥川	伊勢物語			○			小野茂樹					
8 筒井筒				○			東直子					
9 和歌十首		小倉百人一首(10)	小野小町				○	佐藤弓生				
			僧正遍昭					染野太朗				
	光孝天皇			5 野焼				野焼				權未知子
	在原業平朝臣			6 オムライス	オムライス	宮下奈都			○			
	坂上是則			7 待ち伏せ	待ち伏せ	ティム・オブライエン			○			
	平兼盛			8 「人間」を描きたい	「人間」を描きたい	野村萬斎・高橋克明			○			
権中納言敦忠		9 なめとこ山の熊	なめとこ山の熊	宮沢賢治		○						
儀同三司母		10 総合選択			サーカス	中原中也	○	○				
紫式部					コーヒーカップ	三角みづ紀						
式子内親王					神様	川上弘美						
					夢十夜 第一夜	夏目漱石						
10 鶏口牛後	十八史略	曾先之		○								
11 先従隗始				○								
12 木曾の最期	平家物語			○								
13 漢詩四編(4)	静夜思	李白		○								
	江南春	杜牧										
	月夜	杜甫										
	香炉峰下、新卜山居、草堂初成、偶題東壁	白居易										
14 神無月のころ	徒然草	兼好法師		○								
15 家居のつきづきしく				○								
16 論語八章	論語	孔子		○								
17 総合選択	土佐日記	紀貫之	○									
18 総合選択	雑説	韓愈	○									
			(2)	(16)				(1)	(10)			

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	e 発展的な内容の概要			
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要		
1 田舎の児、桜の散るを見て泣くこと				○	1 世界を見わたす窓	世界を見わたす窓	吉岡乾		○				
2 児のそら寝	宇治拾遺物語			○	2 文字の深秘	文字の深秘	若松英輔		○				
3 絵仏師良秀				○	3 羅生門	羅生門	芥川龍之介		○				
4 阿蘇の史、盗人にあひてのがること	今昔物語集		○		4 ゼイナブの指	ゼイナブの指	西加奈子		○				
5 をりふしの移り変はるこそ	徒然草	兼好法師	○		5 実体の美と状況の美	実体の美と状況の美	高階秀爾		○				
6 神無月のころ			○				正岡子規						
7 九月ばかり	枕草子	清少納言		○			佐佐木信綱						
8 雪のいと高う降りたるを				○			長塚節						
9 想いを表す言葉(一)	万葉集(9)	笠女郎	○		6 短歌十五首	短歌(15)		○					
		作者未詳										島木亦彦	
		狭野弟上娘子										与謝野晶子	
		東歌										北原白秋	
		大伴旅人								石川啄木			
		志貴皇子								斎藤茂吉			
		山部赤人								若山牧水			
		大伴家持								前田夕暮			
		防人歌								会津八一			
	四季の移ろい	鈴木宏子					釈迺空						
	古今和歌集(9)	よみ人しらず								近藤芳美			
		小野小町								寺山修司			
在原業平					馬場あき子								
旅と別れ	在原業平				正岡子規								
	紀友則				高浜虚子								
	藤原敏行				河東碧梧桐								
新古今和歌集(7)	凡河内躬恒				村上鬼城								
	在原行平				飯田蛇笏								
	紀貫之				水原秋桜子								
	菅原道真				石田波郷								
	吉海直人				中村草田男								
	藤原兼輔				山口誓子								
	前大僧正慈円				中村汀女								
8 夢十夜	夢十夜			夏目漱石		○							
藤原定家													
藤原良経													
後鳥羽院													
西行法師													
藤原俊成													
恋するころ	水原紫音				9 青が消える(Losing Blue)	青が消える(Losing Blue)	村上春樹		○				
	小池昌代				10 良識派	良識派	安部公房		○				
					11 外国語の不思議・日本語の不思議	外国語の不思議・日本語の不思議	石井洋二郎		○				
					12 橋のたもとの老人	橋のたもとの老人	アーネスト・ヘミングウェイ		○				

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書くこと	B 読むこと	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書くこと	B 読むこと	e 発展的な内容の概要		
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要	
10	芥川			○	13	サーカス	サーカス	中原中也	○			
11	あづま下り	伊勢物語		○	14	城の崎にて	城の崎にて	志賀直哉	○			
12	筒井筒			○	15	セメント樽の中の手紙	セメント樽の中の手紙	葉山嘉樹	○			
13	源氏物語への招待	源氏物語	紫式部	○	16	わたしが一番きれいだったとき	わたしが一番きれいだったとき	茨木のり子	○			
14	木曾の最期	平家物語		○								
15	寿永三年正月	吾妻鏡		○								
16	門出	土佐日記	紀貫之	○								
17	あこがれ	更級日記	菅原孝標の女	○								
18	旅立ち			○								
19	白河の関	おくのほそ道	松尾芭蕉	○								
20	平泉			○								
21	大垣			○								
22	漢文に親しむ	論語	孔子	○								
		孟子	孟子									
23	蛇足	戦国策	劉向	○								
24	完璧			○								
25	鶏鳴狗盗	十八史略	曾先之	○								
26	臥薪嘗胆			○								
27	想いを表す言葉<二>	静夜思	李白									
		江雪	柳宗元									
		山行	杜牧									
		贈汪倫	李白									
		送元二使安西	王維		○							
		過故人莊	孟浩然									
		涼州詞	王翰									
月夜	杜甫											
		香伊峰下、新卜山房、草堂初成、偶題東壁	白居易									
28	雑説	唐宋八家文読本	韓愈	○								
29	黔之驢	柳河東集	柳宗元	○								
30	人面桃花	本事詩	孟棨	○								
			(4)	(26)				(2)	(14)			

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	e 発展的な内容の概要		
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要	
1 児のそら寝	宇治拾遺物語			○	1 羅生門	羅生門	芥川龍之介		○			
2 絵仏師良秀				○	2 サラバ!	サラバ!	西加奈子		○			
3 柿の木に仏現ずること				○	3 サークス	サーカス	中原中也		○			
4 つれづれなるままに	徒然草	兼好法師		○	4 I was born	I was born	吉野弘		○			
5 神無月のころ				○	5 短歌	短歌(16)	正岡子規 与謝野晶子 石川啄木 若山牧水 北原白秋 斎藤茂吉 寺山修司 佐佐木幸綱 河野裕子 水原紫苑	○				
6 ある人、弓射ることを習ふに				○								
7 丹波に出雲といふ所あり				○								
8 奥山に猫またといふものありて				○								
9 同じ心ならん人と				○								
10 芥川				○								
11 東下り	伊勢物語			○								
12 筒井筒				○								
13 あづさ弓				○								
14 なよ竹のかぐや姫	竹取物語			○								
15 天人の迎へ				○								
16 春はあけぼの	枕草子	清少納言		○	6 俳句	俳句(16)	正岡子規 高浜虚子 中村草田男 山口誓子 水原秋桜子 種田山頭火 杉田久女 中村汀女 橋本多佳子 加藤楸邨	○				
17 ありがたきもの				○								
18 雪のいと高う降りたるを				○								
19 中納言参り給ひて				○								
20 万葉集	万葉集(9)	柿本人麻呂 山部赤人 額田王 天武天皇 山上憶良 大伴家持 東歌 防人の歌		○	7 城の崎にて	城の崎にて	志賀直哉		○			
						8 沖縄の手記から	沖縄の手記から	田宮虎彦				○
						9 山月記	山月記	中島敦				○
21 古今和歌集	古今和歌集(6)	紀貫之 よみ人しらず 藤原敏行 源宗子 小野小町 在原業平		○								
22 新古今和歌集	新古今和歌集(6)	後鳥羽院 藤原定家 藤原俊成 西行 藤原家隆 式子内親王		○								
23 門出	土佐日記	紀貫之		○								
24 帰京				○								
25 祇園精舎	平家物語			○								
26 木曾の最期				○								
27 序一漂泊の思ひ一	おくのほそ道	松尾芭蕉		○								
28 平泉				○								

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
29	古典と注釈	古今和歌集 百人一首宗祇抄 うひまなび		○							
30	入門	入門		○							
31	漁夫之利	戦国策		○							
32	矛盾	韓非子		○							
33	狐借虎威	戦国策		○							
34	朝三暮四	列子		○							
35	管鮑之交			○							
36	先従隗始	十八史略		○							
37	鶏口牛後			○							
38	中国の詩(9)	登鸛鵲樓 静夜思 山中問答 涼州詞 送元二使安西 山行 月夜 登高 八月十五日夜、禁中独直、对月憶元九		○							
39	日本の詩(2)	不出門 京洛之新緑、美無加、散步途上、口占		○							
40	論語	論語		○							
41	孟子	孟子		○							
42	雑説	韓昌黎集		○							
43	罷説	柳河東集		○							
			(3)	(40)				(2)	(7)		

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
1	児のそら寝			○	1	羅生門	羅生門	芥川龍之介	○		
2	検非違使忠明	宇治拾遺物語		○	2	舟を編む	舟を編む	三浦しをん	○		
3	なよ竹のかぐや姫	竹取物語		○	3	沖縄の手記から	沖縄の手記から	田宮虎彦	○		
4	つれづれなるままに			○	4	側転と三夏	側転と三夏	武田綾乃	○		
5	神無月のころ	徒然草	兼好法師	○	5	山月記	山月記	中島敦	○		
6	ある人、弓射ることを習ふに			○	6	サーカス	サーカス	中原中也	○		
7	丹波に出雲といふ所あり			○	7	I was born	I was born	吉野弘	○		
8	芥川			○				正岡子規			
9	東下り	伊勢物語		○				与謝野晶子			
10	筒井筒			○				石川啄木			
11	春はあけぼの			○				若山牧水			
12	ありがたきもの	枕草子	清少納言	○	8	短歌	短歌(16)	北原白秋	○		
13	雪のいと高う降りたるを			○				斎藤茂吉			
14	門出	土佐日記	紀貫之	○				寺山修司			
15	帰京			○				佐佐木幸綱			
16	祇園精舎	平家物語		○				河野裕子			
17	木曾の最期			○				水原紫苑			
18	序一漂泊の思ひ一	おくのほそ道	松尾芭蕉	○				正岡子規			
19	平泉			○				高浜虚子			
20	古典と注釈	古今和歌集	在原業平	○	9	俳句	俳句(16)	中村草田男	○		
		百人一首宗祇抄	宗祇					山口誓子			
		うひまなび	賀茂真淵					水原秋桜子			
21	入門	入門		○				種田山頭火			
22	漁夫之利	戦国策	劉向	○				杉田久女			
23	矛盾	韓非子	韓非	○				中村汀女			
24	狐借虎威	戦国策	劉向	○				橋本多佳子			
25	朝三暮四	列子	列子	○				加藤楸邨			
26	管鮑之交			○							
27	先従隗始	十八史略	曾先之	○							
28	鶏口牛後			○							
29	漢詩(9)	登鸛鶴楼	王之涣	○							
		静夜思	李白								
		山中間答	李白								
		涼州詞	王翰								
		送元二使安西	王維								
		山行	杜牧								
		月夜	杜甫								
		登高	杜甫								
		八月十五日夜、禁中独直、对月憶元九	白居易								
30	論語	論語	孔子	○							
31	雑説	韓昌黎集	韓愈	○							
32	京洛之新緑、美無加、散歩途上、口占	河上肇全集	河上肇	○							

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
33 万葉集	万葉集(9)	柿本人麻呂	○								
		山部赤人									
		額田王									
		天武天皇									
		山上憶良									
		大伴家持									
34 古今和歌集	古今和歌集(6)	東歌	○								
		防人の歌									
		紀貫之									
		よみ人しらず									
		藤原敏行									
		源宗子									
35 新古今和歌集	新古今和歌集(6)	小野小町	○								
		在原業平									
		後鳥羽院									
		藤原定家									
		藤原俊成									
		西行									
			(2)	(33)				(2)	(7)		

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
1	古文に親しもう	いろは歌、竹取物語、伊勢物語、古今和歌集仮名序、土佐日記、枕草子、源氏物語、方丈記、平家物語、徒然草、おくのほそ道		○	1	とんかつ	とんかつ	三浦哲郎		○	
2	児のそら寝	宇治拾遺物語		○	2	舟を編む	舟を編む	三浦しをん		○	
3	検非違使忠明			○	3	羅生門	羅生門	芥川龍之介		○	
4	高名の木登り			○	4	六月	六月	茨木のり子		○	
5	ある人、弓射ることを習ふに	徒然草	兼好法師	○	5	サーカス	サーカス	中原中也		○	
6	丹波に出雲といふ所あり			○				与謝野晶子			
7	芥川	伊勢物語		○				石川啄木			
8	筒井筒			○				佐佐木幸綱			
9	万葉集	万葉集(4)	持統天皇 山部赤人 山上憶良	○	6	短歌	短歌(12)	寺山修司 河野裕子 穂村弘 斎藤茂吉 斎藤史 岡井隆 前田夕暮 若山牧水 佐藤弓生	○		
10	古今和歌集	古今和歌集(5)	紀貫之 よみ人しらず 藤原敏行 源宗子 小野小町	○				三橋鷹女 水原秋桜子 黛まどか 高浜虚子 夏目漱石 種田山頭火 正岡子規 村上鬼城 中村草田男	○		
11	新古今和歌集	新古今和歌集(4)	後鳥羽院 西行 式子内親王 藤原定家	○				飯田蛇笏 杉田久女 坪内稔典			
12	木曾の最期	平家物語		○				武田綾乃		○	
13	平泉	おくのほそ道	松尾芭蕉	○				太宰治		○	
14	日本語の中に生きる漢文	日本語の中に生きる漢文		○	7	俳句	俳句(12)	中島敦		○	
15	助長	孟子	孟子	○				田宮虎彦		○	
16	漁夫の利	戦国策	劉向	○							
17	虎の威を借る狐	十八史略	曾先子	○							
18	管鮑の交わり	春暁	孟浩然								
19	中国の漢詩(8)	登鶴鵲楼	王之涣	○	8	側転と三夏	側転と三夏				
		秋浦歌	李白		9	葉桜と魔笛	葉桜と魔笛				
		江雪	柳宗元		10	名人伝	名人伝				
		涼州詞	王翰		11	沖繩の手記から	沖繩の手記から				
		送元二使安西	王維								
		山行	杜牧								
		春望	杜甫								
20	日本の漢詩(2)	富士山 春日偶成	石川丈山 夏目漱石	○							
21	論語	論語	孔子	○							
			(3)	(18)				(2)	(9)		

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
1	なよ竹のかぐや姫	竹取物語		○	1	ふたつの月	ふたつの月	中西進	○		
2	児のそら寝	宇治拾遺物語		○	2	羅生門	羅生門	芥川龍之介	○		
3	絵仏師良秀			○	3	ざしき童子のはなし	ざしき童子のはなし	宮澤賢治	○		
4	つれづれなるままに			○	4	小諸なる古城のほとり	小諸なる古城のほとり	島崎藤村	○		
5	ある人、弓射ることを習ふに	徒然草	兼好法師	○	5	冬が来た	冬が来た	高村光太郎	○		
6	高名の木登り			○	6	一つのメルヘン	一つのメルヘン	中原中也	○		
7	花は盛りに			○	7	自分の感受性くらい	自分の感受性くらい	茨木のり子	○		
8	芥川			○				正岡子規			
9	東下り	伊勢物語		○				岡本かの子			
10	筒井筒			○				釈迺空			
11	門出			○	8	和歌・短歌二十首	短歌(8)	佐佐木幸綱	○		
12	忘れ貝	土佐日記	紀貫之	○				与謝野晶子			
13	帰京			○				河野裕子			
14	春はあけぼの			○				石川啄木			
15	鳥は	枕草子	清少納言	○				俵万智			
16	雪のいと高う降りたるを			○	9	かささぎ	かささぎ	川端康成	○		
17	祇園精舎	平家物語		○	10	芭蕉の風雅	芭蕉の風雅	長谷川權	○		
18	木曾の最期			○				正岡子規			
19	和歌・短歌二十首	万葉集(4)	大伴家持	○	11	発句・俳句十五句	俳句(9)	高浜虚子	○		
			柿本人麻呂					山口誓子			
		額田王	鷹羽狩行								
		防人歌	黛まどか								
古今和歌集(4)	紀貫之	○	12	無用の用	無用の用	串田久治	○				
	藤原敏行										
新古今和歌集(4)	小野小町	○									
	在原行平										
	後鳥羽院										
	藤原定家										
	式子内親王										
	西行										
20	旅立ち			○							
21	平泉	奥の細道	松尾芭蕉	○							
22	立石寺			○							
23	発句・俳句十五句	俳句(6)	松尾芭蕉	○							
			与謝蕪村								
			小林一茶								
24	漢文入門	漢文入門		○							
25	矛盾	韓非子	韓非	○							
26	狐借虎威	戦国策	劉向	○							
27	五十歩百歩	孟子	孟軻	○							
28	管鮑之交	十八史略	曾先之	○							
29	鶏口牛後			○							

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
30	漢詩(9)	江雪	柳宗元	○							
		静夜思	李白								
		江南春	杜牧								
		送元二使安西	王維								
		春望	杜甫								
		<small>香炉峰下、新卜山居、草堂初成、偶題東望</small>	白居易								
		登岳陽樓	杜甫								
		謫居春雪	菅原道真								
		題自画	夏目漱石								
31	論語	論語	孔子	○							
32	桃花源記	陶淵明集	陶潜	○							
				(3)	(29)			(0)	(12)		

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
1	児のそら寝	宇治拾遺物語		○	1	羅生門	羅生門	芥川龍之介	○		
2	絵仏師良秀			○	2	城崎にて	城の崎にて	志賀直哉	○		
3	大江山	十訓抄	六波羅二關左衛門入道	○	3	待つ	待つ	太宰治	○		
4	亀山殿の御池に			○	4	うそとパン	うそとパン	幸田文	○		
5	大事を思ひ立たん人は	徒然草	兼好	○	5	写真班	写真班	梅崎春生	○		
6	奥山に猫またといふものありて			○	6	青が消える	青が消える	村上春樹	○		
7	花は盛りに			○	7	離さない	離さない	川上弘美	○		
8	かぐや姫の生ひ立ち	竹取物語		○	8	短歌	短歌(10)	正岡子規	○		
9	かぐや姫の嘆き			○				与謝野晶子			
10	芥川			○				若山牧水			
11	東下り	伊勢物語		○				石川啄木			
12	筒井筒			○				斎藤茂吉			
13	梓弓			○				齋藤史			
14	門出			○				寺山修司			
15	阿倍仲麻呂	土佐日記	紀貫之	○				春日井建			
16	帰京			○				俵万智			
17	木曾の最期	平家物語		○				正岡子規			
18	旅立ち			○	高浜虚子						
19	平泉	おくのほそ道	松尾芭蕉	○	種田山頭火						
20	種の浜			○	飯田蛇笏						
21	田舎に雅言の残れること	玉勝間	本居宣長	○	久保田万太郎						
22	漢文入門	漢文入門		○	水原秋桜子						
23	蛇足	戦国策	劉向	○	橋本多佳子						
24	朝三暮四	列子	列禦寇	○	永田耕衣						
25	断腸	世説新語	劉義慶	○	西東三鬼						
26	先從隗始			○	中村草田男						
27	鶏口牛後	十八史略	曾先之	○	山口誓子						
28	管鮑之交			○	富沢赤黄男						
29	臥薪嘗胆			○	星野立子						
30	詩(12)	春暁	孟浩然	○	9	俳句	俳句(21)	加藤楸邨	○		
		江南春	杜牧					能村登四郎			
		秋風引	劉禹錫					石田波郷			
		江雪	柳宗元					渡辺白泉			
		送元二使安西	王維					金子兜太			
		勸酒	于武陵					飯田龍太			
		涼州詞	王翰					鷹羽狩行			
		静夜思	李白					高野ムツオ			
		春望	杜甫					室生犀星			
		八月十五日夜、禁中独直、对月憶元九	白居易					萩原朔太郎			
富士山	石川丈山	宮沢賢治									
烏兎塞宮	成島柳北	茨木のり子									
31	雑説	雑説	韓愈	○	14	大人にはわからない日本文学史	大人にはわからない日本文学史	高橋源一郎	○		
32	春夜宴桃李園序	春夜宴桃李園序	李白	○							
33	論語	論語	孔子	○							
34	慎思録	慎思録	貝原益軒	○							
35	笑話出思録	笑話出思録	乾篤軒	○							

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
36	和歌 万葉集	万葉集(9)	額田王 大海人皇子 柿本人麻呂 山部赤人 山上憶良 作者未詳 大伴家持 防人歌	○							
37	古今和歌集	古今和歌集(8)	紀貫之 紀友則 藤原敏行 在原業平 源宗子 小野小町 良岑宗貞	○							
38	後拾遺和歌集	後拾遺和歌集(1)	和泉式部	○							
39	新古今和歌集	新古今和歌集(7)	後鳥羽上皇 宮内卿 藤原俊成 藤原定家 藤原家隆 式子内親王 西行	○							
40	俳諧	俳諧(3)	松尾芭蕉 与謝蕪村 小林一茶	○							
				(0)	(40)				(0)	(14)	

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
1	児のそら寝	宇治拾遺物語		○	1	言葉の力	言葉の力	大岡信	○		
2	大納言顯雅卿	十訓抄		○	2	転換期の文学—『平家物語』の魅力	転換期の文学—『平家物語』の魅力	兵藤裕己	○		
3	絵仏師良秀	宇治拾遺物語		○	3	余が一致の由来	余が一致の由来	二葉亭四迷	○		
4	大江山	十訓抄		○	4	羅生門	羅生門	芥川龍之介	○		
5	かぐや姫誕生	竹取物語		○	5	夢十夜	夢十夜	夏目漱石	○		
6	かぐや姫の昇天			○	6	待ち伏せ	待ち伏せ	ティム・オプライエン	○		
7	芥川			○	7	なぜ日本語で書くのか	なぜ日本語で書くのか	リービ英雄	○		
8	東下り	伊勢物語		○	8	虹の雌雄	虹の雄雌	峰飼耳	○		
9	筒井筒			○	9	失われた両腕	失われた両腕	清岡卓行	○		
10	梓弓			○	10	物語る声を求めて	物語る声を求めて	津島佑子	○		
11	門出			○	11	小諸なる古城のほとり	小諸なる古城のほとり	島崎藤村	○		
12	亡き児をしのぶ	土佐日記	紀貫之	○	12	竹	竹	萩原朔太郎	○		
13	帰京			○	13	樹下の二人	樹下の二人	高村光太郎	○		
14	東路の道の果て	更級日記	菅原孝標女	○	14	二十億光年の孤独	二十億光年の孤独	谷川俊太郎	○		
15	をかしげなる猫			○	15	崖	崖	石垣りん	○		
16	つれづれなるままに			○	16	I was born	I was born	吉野弘	○		
17	丹波に出雲といふ所あり			○	17	短歌	短歌(18)	与謝野晶子	○		
18	ある人、弓射ることを習ふに	徒然草	兼好	○				斎藤茂吉			
19	名を聞くより、やがて面影は			○				北原白秋			
20	花は盛りに			○				若山牧水			
21	ゆく河の流れ	方丈記	鴨長明	○				石川啄木			
22	飯の庵			○				塚本邦雄			
23	木曾の最期	平家物語		○				寺山修司			
								河野裕子			
								俵万智			
								栗木京子			
					穂村弘						
24	万葉集	万葉集(12)	額田王 柿本人麻呂 山部赤人 大伴旅人 山上憶良 志貴皇子 大伴坂上郎女 狭野弟上娘子 東歌 防人歌 大伴家持	○				石田波郷			
								高浜虚子			
								能村登四郎			
								中村草田男			
								杉田久女			
								秋元不死男			
								飯田蛇笏			
								水原秋桜子			
								三橋鷹女			
								正岡子規			
								加藤楸邨			
								山口誓子			
								種田山頭火			
								西東三鬼			
								三橋敏雄			
								長谷川權			
								小澤實			
								田中裕明			
25	古今和歌集	古今和歌集(10)	素性 紀貫之 よみ人知らず 凡河内躬恒 清原深養父 壬生忠岑 小野小町 在原業平 安倍仲麿 小野篁	○	18	俳句	俳句(18)		○		

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
26	新古今和歌集	新古今和歌集(8) 藤原定家 藤原俊成女 藤原良経 寂蓮 藤原家隆 式子内親王 藤原俊成 西行		○							
27	序			○							
28	白河の関	奥の細道		○							
29	立石寺			○							
30	待つ恋	正徹物語		○							
31	いにしへよりも後世のまされること	玉勝間		○							
32	漢文を学ぶために	漢文を学ぶために		○							
33	憲法十七条	日本書紀		○							
34	守株	韓非子		○							
35	推敲	唐詩紀事		○							
36	借虎威	戦国策		○							
37	漁父之利			○							
38	塞翁馬	淮南子		○							
39	管鮑之交			○							
40	刺客荆軻	十八史略		○							
41	死諸葛走生仲達			○							
42	那須宗高	日本外史		○							
43	唐詩(10)	登鸛鵲樓		○	王之渙						
		鹿柴			王維						
		秋風引			劉禹錫						
		江雪			柳宗元						
		涼州詞			王翰						
		望廬山瀑布			李白						
		江南春			杜牧						
		過故人莊			孟浩然						
		登岳陽樓			杜甫						
		香伊峰下、新卜山居、草堂初成、偶題東隱			白居易						
44	論語	論語		○	孔子						
45	老子	老子		○	老子						
46	朝三暮四(二編)	列子		○	列禦寇						
		莊子			莊周						
47	雑説	唐宋八家文読本		○	韓愈						
			(0)	(47)				(0)	(18)		

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	e 発展的な内容の概要										
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要									
1 児のそら寝	宇治拾遺物語			○	1 贅のうへ	贅のうへ	三好達治		○											
2 絵仏師良秀					2 一つのメルヘン	一つのメルヘン	中原中也													
3 なよ竹のかぐや姫	竹取物語			○	3 自分の感受性くらい	自分の感受性くらい	茨木のり子		○											
4 芥川					伊勢物語							○	4 I was born	I was born	吉野弘					
5 東下り													5 その子二十	短歌(18)		○	与謝野晶子			
6 筒井筒	石川啄木																			
7 あづさ弓	若山牧水																			
8 春は、あけぼの	枕草子	清少納言		○			島木赤彦		○											
9 はしたなぎもの							斎藤茂吉													
10 九月ばかり							北原白秋													
11 中納言参りたまひて							正岡子規													
12 門出	土佐日記	紀貫之		○	6 こころの帆	俳句(21)	高浜虚子		○											
13 亡児							村上鬼城													
14 帰京							水原秋桜子													
15 ある人、弓射ることを習ふに	徒然草	兼好法師		○			中村草田男													
16 丹波に出雲といふ所あり							加藤楸邨													
17 花は盛りに							山口誓子													
18 九月二十日のころ	平家物語			○	7 人形浄瑠璃文楽—三業一体の技	人形浄瑠璃文楽—三業一体の技			○											
19 祇園精舎					8 祭りの笛	祭りの笛	三浦哲郎													
20 木曾の最期	万葉集	舒明天皇 額田王 柿本人麻呂 山部赤人 山上憶良 大伴坂上郎女 大伴家持 東歌 防人歌		○																
21 万葉集										古今和歌集	古今和歌集(9)			○						
																				紀貫之
																				在原業平
																				よみ人知らず
																				藤原敏行
																				源宗子
紀友則																				
安倍仲麻呂																				
小野小町																				
僧正遍昭																				

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
23	新古今和歌集	新古今和歌集(10)		○							
		後鳥羽院 式子内親王 藤原俊成 藤原俊成女 寂蓮法師 西行法師 藤原定家 藤原家隆 慈円 藤原良経									
24	旅立ち			○							
25	平泉	奥の細道		○							
26	立石寺			○							
27	漢文入門	漢文入門		○							
28	漁父之利			○							
29	狐借虎威	戦国策		○							
30	蛇足			○							
31	完璧			○							
32	先従隗始	十八史略		○							
33	臥薪嘗胆			○							
34	唐詩の世界(9)	春曉 江雪 江南春 静夜思 月夜 八月十五日夜、禁中独直、对月憶元九 黄鹤楼送孟浩然之广陵 送元二使安西 春望		○							
		孟浩然 柳宗元 杜牧 李白 杜甫 白居易 李白 王維 杜甫									
35	日本の漢詩(3)	読家書 桂林莊雜詠示諸生 道情		○							
		菅原道真 広瀬淡窓 中野道遥									
36	論語	論語		○							
37	桃花源記	陶淵明集		○							
38	離魂記	太平広記		○							
			(0)	(38)				(1)	(7)		

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
1 児のそら寝	宇治拾遺物語			○	1 羅生門	羅生門	芥川龍之介	○			
2 絵仏師良秀					2 砂に埋もれたル・コルビュジエ	砂に埋もれたル・コルビュジエ	原田マハ				
3 なよ竹のかぐや姫	竹取物語			○	3 贅のうへ	贅のうへ	三好達治	○			
4 芥川					4 一つのメルヘン	一つのメルヘン	中原中也				
5 東下り	伊勢物語			○	5 自分の感受性くらい	自分の感受性くらい	茨木のり子	○			
6 筒井筒					6 I was born	I was born	吉野弘				
7 あづさ弓					7 夢十夜	夢十夜	夏目漱石				
8 春は、あけぼの					8 鏡		村上春樹				
9 はしたなきもの	枕草子	清少納言		○	9 その子二十	短歌(18)	与謝野晶子	○			
10 九月ばかり							石川啄木				
11 中納言参りたまひて	土佐日記	紀貫之		○			若山牧水				
12 門出							島木赤彦				
13 亡児							斎藤茂吉				
14 帰京							北原白秋				
15 ある人、弓射ることを習ふに	徒然草	兼好法師		○	10 こころの帆	俳句(21)	正岡子規	○			
16 丹波に出雲といふ所あり							高浜虚子				
17 花は盛りに							村上鬼城				
18 九月二十日のころ	平家物語			○			水原秋桜子				
19 祇園精舎							中村草田男				
20 木曾の最期	万葉集	舒明天皇 額田王 柿本人麻呂 山部赤人 山上憶良 大伴坂上郎女 大伴家持 東歌 防人歌		○			加藤楸邨				
							山口誓子				
							志賀直哉				
							林京子				
							三浦哲郎				
21 万葉集	古今和歌集	紀貫之 在原業平 よみ人知らず 藤原敏行 源宗子 紀友則 安倍仲麻呂 小野小町 僧正遍昭		○							

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 く こ と	B 読 む こ と	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
23	新古今和歌集	新古今和歌集(10) 後鳥羽院 式子内親王 藤原俊成 藤原俊成女 寂蓮法師 西行法師 藤原定家 藤原家隆 慈円 藤原良経		○							
24	旅立ち			○							
25	平泉	奥の細道		○							
26	立石寺			○							
27	漢文入門	漢文入門		○							
28	漁父之利			○							
29	狐借虎威	戦国策		○							
30	蛇足			○							
31	完璧			○							
32	先従隗始	十八史略		○							
33	臥薪嘗胆			○							
34	唐詩の世界(9)	春曉 江雪 江南春 静夜思 月夜 八月十五日夜、禁中独直、对月憶元九 黄鹤楼送孟浩然之广陵 送元二使安西 春望		○							
35	日本の漢詩(3)	読家書 桂林莊雜詠、示諸生 道情		○							
36	論語	論語		○							
37	桃花源記	陶淵明集		○							
38	離魂記	太平広記		○							
			(0)	(38)				(1)	(13)		

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 第一学習社・715】(言語文化)

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
1	児のそら寝	宇治拾遺物語		○	1	とんかつ	とんかつ	三浦哲郎		○	
2	三文にて齒車二つ	沙石集		○	2	よろこびの歌	よろこびの歌	宮下奈都		○	
3	なよ竹のかぐや姫	竹取物語		○	3	道程	道程	高村光太郎		○	
4	絵仏師良秀	宇治拾遺物語		○	4	小景異情	小景異情	室生犀星		○	
5	春は、あけぼの			○	5	I was born	I was born	吉野弘		○	
6	うつしきもの	枕草子	清少納言	○	6	二十億光年の孤独	二十億光年の孤独	谷川俊太郎		○	
7	中納言参りたまひて			○	7	羅生門	羅生門	芥川龍之介		○	
8	東下り	伊勢物語		○	8	公園	公園	三崎亜記		○	
9	筒井筒			○				与謝野晶子			
10	仁和寺にある法師			○				石川啄木			
11	高名の木登り	徒然草	兼好法師	○				若山牧水			
12	神無月のころ			○	9	清水へ	短歌(14)	斎藤茂吉		○	
13	宇治川の先陣	平家物語		○				近藤芳美			
14	万葉集	万葉集(4)	大伴家持 柿本人麻呂 湯原王 大伴旅人	○				寺山修司			
15	古今和歌集	古今和歌集(4)	紀貫之 壬生忠岑 藤原敏行 紀友則	○	10	手毬唄	俳句(14)	依万智			
16	新古今和歌集	新古今和歌集(4)	後鳥羽院 藤原俊成女 藤原定家 藤原俊成	○	11	夢十夜	夢十夜	高浜虚子			
17	旅立ち	奥の細道	松尾芭蕉	○	12	鏡	鏡	種田山頭火			
18	平泉			○	13	人形浄瑠璃文楽-三業一体の技	人形浄瑠璃文楽-三業一体の技	水原秋桜子			
19	漢文入門	漢文入門		○	14	祭りの笛	祭りの笛	橋本多佳子			
20	五十歩百歩	孟子	孟軻	○				中村草田男			
21	矛盾	韓非子	韓非	○				加藤楸邨			
22	蛇足	戦国策	劉向	○				金子兜太			
23	唐詩の世界(5)	春暁 静夜思 送元二使安西 春望 偶題東壁	孟浩然 李白 王維 杜甫 白居易	○				夏目漱石			
24	日本の漢詩(3)	読家書 桂林莊雜詠、示諸生 道情	菅原道真 広瀬淡窓 中野道遥	○				村上春樹			
25	鶏口牛後			○							
26	完璧	十八史略	曾先之	○							
27	先從隗始			○							
28	論語	論語	孔子	○							
				(0)	(28)				(1)	(13)	

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 第一学習社・716】(言語文化)

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
1 鳩と蟻のこと	伊曾保物語			○	1 島の少年一船	島の少年一船	内海隆一郎		○		
2 一休ばなし	仮名草子			○	2 よろこびの歌	よろこびの歌	宮下奈都		○		
3 児のそら寝	宇治拾遺物語			○	3 道程	道程	高村光太郎		○		
4 なよ竹のかぐや姫	竹取物語			○	4 小景異情	小景異情	室生犀星		○		
5 筒井筒	伊勢物語			○	5 六月	六月	茨木のり子		○		
6 仁和寺にある法師	徒然草	兼好法師		○	6 I was born	I was born	吉野弘		○		
7 安元の大火	方丈記	鴨長明		○	7 羅生門	羅生門	芥川龍之介		○		
8 春は、あけぼの				○	8 ほねとたね	ほねとたね	川上弘美		○		
9 はしたなきもの	枕草子	清少納言		○			石川啄木				
10 中納言参りたまひて				○			与謝野晶子				
11 万葉集	万葉集(4)	大伴家持	○	○	9 大切の言葉	短歌(21)	斎藤茂吉	○			
		柿本人麻呂					宮柗二				
		湯原王					寺山修司				
		大伴旅人					栗木京子				
12 古今和歌集	古今和歌集(4)	紀貫之	○	○			依万智	○			
		壬生忠岑					高浜虚子				
		藤原敏行					種田山頭火				
		紀友則					中村草田男				
13 新古今和歌集	新古今和歌集(4)	後鳥羽院	○	○	10 手毬唄	俳句(16)	山口誓子	○			
		藤原俊成女					橋本多佳子				
		藤原定家					三橋鷹女				
		藤原俊成					長谷川權				
14 旅立ち	奥の細道	松尾芭蕉		○			黛まどか				
15 平泉				○	11 よだかの星	よだかの星	宮沢賢治		○		
16 漢文入門	漢文入門			○	12 鏡	鏡	村上春樹		○		
17 五十歩百歩	孟子	孟軻		○	13 わたしはマララ	わたしはマララ	マララ・ユスフザイ		○		
18 矛盾	韓非子	韓非		○	14 人形浄瑠璃文楽-三業一体の技	人形浄瑠璃文楽-三業一体の技			○		
19 狐借虎威	戦国策	劉向		○	15 祭りの笛	祭りの笛	三浦哲郎		○		
20 唐詩の世界(5)	春暁	孟浩然	○	○							
	静夜思	李白									
	送元二使安西	王維									
	春望	杜甫									
	香炉峰下新雨ト山居草堂初成偶題東壁	白居易									
21 日本の漢詩(3)	読家書	菅原道真	○	○							
	桂林荘雑詠、示諸生	広瀬淡窓									
	道情	中野道遥									
22 両頭蛇	蒙求	李瀚		○							
23 梟逢鳩	説苑	劉向		○							
			(0)	(23)				(1)	(14)		

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書く こと	B 読む こと	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
1	児のそら寝			○	1	友情	友情	松浦友久		○	
2	検非違使忠明のこと	宇治拾遺物語		○	2	羅生門	羅生門	芥川龍之介		○	
3	大江山	十訓抄	六波羅二階左衛門		3	蠅	蠅	横光利一		○	
4	花盗人の歌	沙石集	無住		4	猿が島	猿が島	太宰治		○	
5	鷹使いの見た夢			○	5	文体の変遷—明治期の小説を通じて	多情人、多情多恨、破戒、お目出たき人			○	
6	つれづれなるままに				6	場所の記憶を残す恋歌	場所の記憶を残す恋歌	港千尋		○	
7	ある人、弓射ることを習ふに				7	近代の短歌八首	短歌(8)	正岡子規	○		
8	奥山に猫またといふもの	徒然草	兼好法師					与謝野晶子			
9	丹波に出雲といふ所あり							長塚節			
10	花は盛りに							石川啄木			
11	春はあけぼの							北原白秋			
12	ありがたきもの	枕草子	清少納言	○				若山牧水			
13	九月ばかり				斎藤茂吉						
14	門出				釈迢空						
15	かしらの雪	土佐日記	紀貫之		8	近代の俳句八句	俳句(8)	正岡子規	○		
16	帰京							高浜虚子			
17	なよ竹のかぐや姫	竹取物語						飯田蛇笏			
18	かぐや姫の嘆き							水原秋桜子			
19	芥川							山口誓子			
20	東下り							中村草田男			
21	筒井筒	伊勢物語						加藤楸邨			
22	梓弓							尾崎放哉			
23	小野の雪										
24	祇園精舎										
25	木曾の最期	平家物語									
26	万葉集	万葉集(11)	額田王	○							
			天武天皇								
			柿本人麻呂								
			山上憶良								
			山部赤人								
			志貴皇子								
大伴家持											
作者未詳											
27	古今和歌集	古今和歌集(8)	紀貫之	○							
			在原業平								
			詠み人知らず								
			藤原敏行								
			源宗子								
			紀友則								
小野小町											

b 古典の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 こ と	B 読 む こ と	d 近代以降の文章教材の教材名、作品名、作者名等			A 書 こ と	B 読 む こ と	e 発展的な内容の概要	
教材名	作品名	作者名等			教材名	作品名	作者名等			取り上げられている内容	記述の概要
28	新古今和歌集	新古今和歌集(8) 後鳥羽上皇 藤原定家 藤原俊成 寂蓮法師 西行法師 藤原定家 藤原家隆 式子内親王		○							
29	旅こそ栖			○							
30	那須野の少女	奥の細道		○							
31	平泉懐古		○								
32	簫史と弄玉	唐物語 列仙伝		○							
33	怪を語れば怪至る	伽婢子 龍城録		○							
34	漢文の基礎	漢文の基礎		○							
35	推敲	唐詩紀事		○							
36	漁父之利	戦国策		○							
37	知音	呂氏春秋		○							
38	朝三暮四	列子		○							
39	塞翁馬	淮南子	○								
40	鶏口牛後	十八史略		○							
41	鶏鳴狗盗	十八史略		○							
42	管鮑之交	史記		○							
43	臥薪嘗胆	十八史略		○							
44	漢詩(10)	絶句 登鸛鵲樓 早發白帝城 送元二使安西 楓橋夜泊 涼州詞 登岳陽樓 送友人 八月十五日夜、禁中獨直、對月憶元九 聞白樂天左降江州司馬		○							
45	雜説	唐宋八大家文讀本		○							
46	愛蓮説	古文真宝		○							
47	論語	論語		○							
48	孟子	孟子		○							
49	日本の漢文(4)	読家書 堂 無題 野中兼山		○							
			(5)	(44)				(3)	(5)		

「別紙2-2」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 北朝鮮による拉致問題の扱い】(言語文化)

発行者	教科書 番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	新編言語文化	無			
東書	702	精選言語文化	無			
三省堂	703	精選言語文化	無			
三省堂	704	新言語文化	無			
大修館	705	言語文化	無			
大修館	706	新編言語文化	無			
数研	707	言語文化	無			
数研	708	高等学校 言語文化	無			
数研	709	新編 言語文化	無			
文英堂	710	言語文化	無			
明治	711	精選 言語文化	無			
筑摩	712	言語文化	無			
第一	713	高等学校 言語文化	無			
第一	714	高等学校 精選 言語文化	無			
第一	715	高等学校 標準 言語文化	無			
第一	716	高等学校 新編 言語文化	無			
桐原	717	探求 言語文化	無			

「別紙2-3」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 防災や自然災害の扱い】（言語文化）

発行者	教科書 番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	新編言語文化	無			
東書	702	精選言語文化	有	P130 コラム	自然災害	方丈記における五大災厄
三省堂	703	精選言語文化	無			
三省堂	704	新言語文化	無			
大修館	705	言語文化	有	P137 コラム	自然災害	日本における災害の記録
大修館	706	新編 言語文化	無			
数研	707	言語文化	無			
数研	708	高等学校 言語文化	無			
数研	709	新編 言語文化	無			
文英堂	710	言語文化	有	P164 本文	自然災害	東日本大震災などの自然災害で多くの命が失われること
明治	711	精選 言語文化	有	P43 コラム	自然災害	方丈記における災厄
筑摩	712	言語文化	無			
第一	713	高等学校 言語文化	無			
第一	714	高等学校 精選 言語文化	有	P25 コラム	自然災害	関東大震災の記載
第一	715	高等学校 標準 言語文化	有	P65 コラム	自然災害	関東大震災の記載
第一	716	高等学校 新編 言語文化	有	P158 本文	災害	安元の大火
桐原	717	探求 言語文化	有	P245 本文	自然災害	東日本震災と貞観地震の類似について記載

「別紙2-4」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 オリンピック、パラリンピックの扱い】(言語文化)

発行者	教科書 番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	新編言語文化	無			
東書	702	精選言語文化	無			
三省堂	703	精選言語文化	有	P321 本文	東京オリンピック	1964年頃を「第一東京オリンピックの頃」と記述
三省堂	704	新言語文化	無			
大修館	705	言語文化	無			
大修館	706	新編 言語文化	無			
数研	707	言語文化	無			
数研	708	高等学校 言語文化	無			
数研	709	新編 言語文化	無			
文英堂	710	言語文化	無			
明治	711	精選 言語文化	無			
筑摩	712	言語文化	無			
第一	713	高等学校 言語文化	無			
第一	714	高等学校 精選 言語文化	無			
第一	715	高等学校 標準 言語文化	無			
第一	716	高等学校 新編 言語文化	無			
桐原	717	探求 言語文化	無			

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(言語文化)

発行者	教科書 番号	教科書名	構 成 上 の 工 夫
東書	701	新編言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・「書く」「読む」の能力を効果的に高めるため、コラムや手引き形式の言語活動を、その活動と関連する教材の近くに配置している。 ・読書への関心を高めるため、「現代文編」の「小説の読み方」「詩の読み方」などでブックガイドを示し、附録の「読書案内」で掲載作品や作者等に関する図書を紹介している。 ・「現代文の窓」、「古文の窓」、「漢文の窓」をそれぞれ設け、単元や教材で学習した内容を深めたり広げたりできる工夫がある。 ・裏表紙にユニバーサルデザインに関する記載がある。 ・二次元コードからデジタルコンテンツを参照できる。
東書	702	精選言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・「書く」「読む」の能力を効果的に高めるため、コラムや手引き形式の言語活動を、その活動と関連する教材の近くに配置している。 ・生徒の主体的な学習につなげられるよう、巻末には「近代文学史キーワード」「読書案内」などの附録がある。 ・単元や教材で学習した内容を深めたり広げたりできるよう、「現代文の窓」、「古文の窓」、「漢文の窓」をそれぞれ設けている。 ・裏表紙にユニバーサルデザインに関する記載がある。 ・二次元コードからデジタルコンテンツを参照できる。
三省堂	703	精選言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の変化とともに移り変わる「言語文化」の流れが理解できるよう、「古典の扉」「文学の扉」のコラムや「和歌の世界へ」「漢詩の世界へ」を設けている。 ・作品についての理解を深めつつ、多角的な視点をもてるよう、翻案や読み比べ、詩の朗読会といった活動を設定した「学びを広げる」を配置している。 ・裏表紙にユニバーサルデザインに関する記載がある。 ・二次元コードからデジタルコンテンツを参照できる。
三省堂	704	新言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材に「学習テーマ・見通し」と「振り返り」を設定し、学習活動を通して身に付けた力を自分で確かめ、次の学習に生かすことができるようにしている。 ・教材にある「羅針盤」に「協働的な学びのために」を配置し、ディスカッションによる意見交流や多様な表現活動が示されている。 ・様々な文章に触れられるよう、「広がる読書」と題された教材に関連する文章が示されている。 ・裏表紙にユニバーサルデザインに関する記載がある。 ・二次元コードからデジタルコンテンツを参照できる。
大修館	705	言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・言語文化の広がりを実感できるよう、作品の世界を多角的に紹介する「言語文化の窓」、言葉に関する知識を紹介する「言葉のタネ」を設けている。 ・「探究」コーナーを設置し、テーマごとに複数の作品や資料を比較して読むことで、学習を深められるようにしている。 ・現代文編では、作品に関わりの深い古典作品や、外国語の作品を掲載し、時代や地域による広がりをつながり学ぶことができるようにしている。 ・古文編、漢文編に、読解に関わる近現代の文章や、外国の翻案作品を掲載し、古典作品を多様な視点から読解できるようにしている。 ・二次元コードからデジタルコンテンツを参照できる。

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(言語文化)

発行者	教科書 番号	教科書名	構 成 上 の 工 夫
大修館	706	新編 言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の末尾に、学習のねらいに即した資料をまとめた「言語文化の窓」を設置し、現在活躍している作家や研究者等の文章や関連するブックガイドなどを掲載している。 ・現代と古典とを、事物や生活について比較し、古典の世界への関心を高めるとともに、古典と現代のつながりについて考えを深めることができるよう「現代と古典を比べてみよう」を掲載している。 ・教材の内容と関連させながら、言葉について興味をもったり、認識を深めたりできる内容をまとめたコラム「ことのは」を配置し、言葉に対する理解を深め、探究心を高めることができるようにしている。 ・二次元コードからデジタルコンテンツを参照できる。
数研	707	言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化についての知識や理解を深められるよう「ズームアップ」コーナーを設置している。 ・教材と関連した文章を掲載した「探究の扉」コーナーを設置し、教材の理解がより深められるようにしている。 ・「作品解説」コーナーを設置し、作品の背景知識を深めるとともに、読書活動にもつなげることができるようにしている。 ・色覚特性への配慮を含むユニバーサルデザインとなっている。 ・二次元コードからデジタルコンテンツを参照できる。
数研	708	高等学校 言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・「ズームアップ」コーナーを設置し、我が国の言語文化についての知識や理解を深めることができる工夫がある。 ・教材と関連した文章を掲載した「探究の扉」コーナーを設置し、教材の理解がより深められる工夫がある。 ・「作品解説」コーナーを設置し、作品の背景知識を深めるとともに、読書活動にもつなげることができる工夫がある。 ・裏表紙にユニバーサルデザインに関する記載がある。 ・二次元コードからデジタルコンテンツを参照できる。
数研	709	新編 言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・「ズームアップ」コーナーを設置し、我が国の言語文化についての知識や理解を深めることができる工夫がある。 ・教材と関連した文章を掲載した「探究の扉」コーナーを設置し、教材の理解がより深められる工夫がある。 ・「作品解説」コーナーを設置し、作品の背景知識を深めるとともに、読書活動にもつなげることができる工夫がある。 ・色覚特性への配慮を含むユニバーサルデザインとなっている。 ・二次元コードからデジタルコンテンツを参照できる。
文英堂	710	言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」の指導事項を充実させるための「言語活動」を設置するとともに、「読むこと」の指導事項を充実させ、文章を読み深めるための音読の活動を取り入れられている工夫がある。 ・教材と、単元年表(成立年代等を記載)・コラム・付録・口絵・前後見返しを関連させて、教材理解をより深く理解できるよう工夫がある。 ・「読書のすすめ」欄を設け、言語文化への理解につながるよう工夫がある。 ・二次元コードからデジタルコンテンツを参照できる。
明治	711	精選 言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・「深い学びのために」の主に「学習のポイント」と「言語活動」、各単元のまとめとなる「単元の言語活動」で実践的な活動が示されている。 ・「深い学びのために」の「言語活動」と「単元の言語活動」では、実践的な活動を設け、分野や単元を超えた、有機的なつながりを意識し、より深い学びを達成できるよう工夫がある。 ・我が国の言語文化について考察し、考察した内容を効果的に書く能力を養える活動が示されている。 ・古典の理解を深められるよう、古文編と漢文編に、古典に関連する近代以降の文学的な文章を掲載している。 ・二次元コードからデジタルコンテンツを参照できる。

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(言語文化)

発行者	教科書 番号	教科書名	構 成 上 の 工 夫
筑摩	712	言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材の冒頭に「視点」を示し、教材を通じて身に付けたい「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力」を意識的に学習できるようにしている。 ・単元の末尾に「実践」を示し、言語能力を高め、主体的・対話的で深い学びへと導く活動が設定されている。 ・「古典文法の窓」「読解の窓」等のコラムおよび付録を設け、日本の言語文化や教材本文の理解をより深められるようにしている。 ・裏表紙にユニバーサルデザインに関する記載がある。 ・二次元コードからデジタルコンテンツを参照できる。
第一	713	高等学校 言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えを的確に表現する力や多角的で客観性のある批判的思考能力を養うため、各教材の最後に「学習の手引き」「活動の手引き」「言葉の手引き」を設置し、発表や話し合いを含む多様な学習活動を示している。 ・「A 書くこと」に関しては、活動を通して表現力や想像力を高められるよう「言語活動」を設定している。 ・「B 読むこと」に関しては、脚注の「問」「学習の手引き」「活動の手引き」の三つの課題設定によって、作品の内容理解を深め、興味を広げられるようにしている。 ・裏表紙にユニバーサルデザインに関する記載がある。 ・二次元コードからデジタルコンテンツを参照できる。
第一	714	高等学校 精選 言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えを的確に表現する力や多角的で客観性のある批判的思考能力を養うため、各教材の最後に「学習の手引き」「活動の手引き」「言葉の手引き」を設置し、発表や話し合いを含む多様な学習活動を示している。 ・「A 書くこと」に関しては、活動を通して表現力や想像力を高められるよう「言語活動」を設定している。 ・「B 読むこと」に関しては、脚注の「問」「学習の手引き」「活動の手引き」の三つの課題設定によって、作品の内容理解を深め、興味を広げられるようにしている。 ・裏表紙にユニバーサルデザインに関する記載がある。 ・二次元コードからデジタルコンテンツを参照できる。
第一	715	高等学校 標準 言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えを的確に表現する力や多角的で客観性のある批判的思考能力を養うため、各教材の最後に「学習の手引き」「活動の手引き」「言葉の手引き」を設置し、発表や話し合いを含む多様な学習活動を示している。 ・「A 書くこと」に関しては、活動を通して表現力や想像力を高められるよう「言語活動」を設定している。 ・「B 読むこと」に関しては、脚注の「問」「学習の手引き」「活動の手引き」の三つの課題設定によって、作品の内容理解を深め、興味を広げられるようにしている。 ・裏表紙にユニバーサルデザインに関する記載がある。 ・二次元コードからデジタルコンテンツを参照できる。
第一	716	高等学校 新編 言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えを的確に表現する力や多角的で客観性のある批判的思考能力を養うため、各教材の最後に「学習の手引き」「活動の手引き」「言葉の手引き」を設置し、発表や話し合いを含む多様な学習活動が示されている。 ・「A 書くこと」に関しては、活動を通して表現力や想像力を高められるよう「言語活動」を設定している。 ・「B 読むこと」に関しては、脚注の「問」「学習の手引き」「活動の手引き」の三つの課題設定によって、作品の内容理解を深め、興味を広げられるようにしている。 ・裏表紙にユニバーサルデザインに関する記載がある。 ・二次元コードからデジタルコンテンツを参照できる。
桐原	717	探求 言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材の本文の前に「本文スコープ」を設定し、本文読解の手がかりとなる着眼点を掲げている。 ・各教材の本文下段には、内容理解を促す小問、末尾の「学習の手引き」には内容理解を深め、主題に迫るための「読解」が設けられている。 ・主体的な学びに誘うための言語活動を各教材に設けている。 ・二次元コードからデジタルコンテンツを参照できる。

